弘前市民参画センター利用団体紹介

弘前市ソフトボール協会

将来の日本代表選手を育成

当協会は、昭和63年に創立以来、地域社会におけるソフトボール競技の普及・振興の活動を続けてきました。シーズン中の弘前地区中学校の各種大会、市スポレク祭などの運営はもとより、オフシーズンにも小・中学生を対象としたソフトボール教室の開催や「陸奥新報社杯女子ソフトボール大会」「弘前ナイターソフトボール大会」「斎藤春香旗弘前地区中学校ソフトボール大会」等ほぼ一年中活動しています。また、市体育協会と連携した青森県民体育大会ソフトボール競技でも四連覇を果たす実績を残しています。

斎藤春香さんによる
ソフトボール教室

2008年、北京オリンピック金メダル監督の斎藤春香さんが、市職員となり、運動公園野球場が「はるか夢球場」となってからは、当協会も国内外の大きな大会運営に携わるようになりました。例えば、昨年10月、三度目となった「日本女子ソフトボールリーグ1部青森大会」の開催や当市初の国際大会となった昨年6月の「第6回東アジアカップソフトボール大会」等があげられます。

特に、後者の大会では、レジェンド上野由岐子投手や女イチローの異名を持つ山田恵理選手らが日本代表として活躍、一流のプレーを披露し、多くの観客を魅了しました。

さらに、市体育協会と共にオリンピック選手の講師による「トップアスリート育成事業」も実施。ここから聖愛高校出身で現在U19日本代表で活躍中の須藤志歩さんを輩出しています。彼女は、春香さんに続く日本代表になる可能性を持っています。

今年も「台湾代表チーム」や実業団チームの合宿を予定しています。一度、球場に足を運んでみませんか。当協会は、大会プログラム等の印刷で参画センターにお世話になっています。職員皆様の丁寧な対応にはいつも感謝しています。

一流選手による
ソフトボールクリニック教室

写真・陸奥新報社提供

弘前市ソフトボール協会
会長　須郷紘輔

センター利用者に突撃インタビュー

７０代・美男美女

◆センターの利用目的と利用頻度は？

「あおもり県民カレッジ中南学友会」の会で利用しています。月１回、月初めの１日を定例会の日として集まっています。主な活動は県民カレッジ主催の世界の名画鑑賞会や講演会、総会などの企画運営、会議、打ち合わせのほかに必要があれば随時集まることもあります。構成役員は11名の男女です。

◆センターを利用してみた感想をお聞かせください。

まず、施設がとてもきれいです。掃除が行き届いていて気持ちがいいですね。また職員の朝のあいさつがさわやかに迎え入れてくれるようで気持ちがいいです。活動室や印刷機の利用料金が安いことと、職員が使い方をやさしく丁寧に教えてくれて助かっています。企画運営当日に機材の諸準備をしてくれて助かっています。あと、街中にあり、交通の便もよいので使いやすさがあります。市外から来ている人にもうらやましがられています。

◆センターに要望はありますか？

特にはないですが、強いていえば利用人数に対して駐車場が少ないことかな。

◆「男女共同参画」についての感想をお聞かせください。

「共同参画」のことばがわかりにくい感じです。意味はわかりますが、イメージとして堅い感じがします。みなさんに親しみやすく伝わることばが使えたらいいですね。今後の課題として検討していけたらいいですね。

◆「今、一番」の楽しみは何でしょうか？

友だちとおしゃべりしたり、食べたりなど仲間が一緒で楽しいです。また、会の企画や運営を仲間といっしょにできる楽しさが長生きの秘訣だと思います。楽しいですよ！

とっても和やかな雰囲気でみなさまがインタビューにそれぞれ応えてくださいました。会議中でも快くお受けしていただいて感謝しております。素敵に年齢を重ねていらしていて、わたしもそうなりたいなぁと思いました。本当にありがとうございました。　　by　のん